

10年で一千頭以上を出荷

渡辺隆氏が「繁殖農家特別表彰」を受ける

10月27日、長崎県・佐世保市で、新ひだか町静内和牛生産改良組合の組合長を務めている田原地区の渡辺隆氏が、「和牛繁殖農家の特別表彰」を受けました。

これは、10月25日から29日まで5日間の日程で開催された「第10回 全国和牛能力共進会」の一事業として実施されたもので、現在までに素牛を1,000頭以上市場出荷した繁殖農家を対象に(社)北海道酪農畜産協会が表彰を行ったものです。今回の表彰では道内から渡辺氏を含め5名の個人、1つの農業生産法人が同表彰を受けました。

また、5年に一度開催され「和牛の祭典」ともいわれる同共進会には、当JAから3名が視察をしており、全国から厳選された和牛を見て、吸収したことも多く、今後の和牛生産の更なる原動力となっていくことと期待しています。



ご自身の順番を待っています。



他の受賞者の方と記念に一枚！



共進会場の様子



「JAしずない太陽の瞳特別」発走

10月18日、ホッカイドウ競馬協賛レース「JAしずない太陽の瞳特別」が行われました。レースは、絶好のスタートから折り合いよく2番手を確保した井上俊彦騎手騎乗の1番人気アウヤンテイ号が、終始楽な手応えのまま4コーナーをまわり、最後も外から差を詰めたマツハタイザンに危なげなく2馬身差をつけ、優勝しました。

また今回、優勝したアウヤンテイ号の馬主・調教師・騎手・厩務員の方には、副賞としてミニトマト「太陽の瞳」(3kg)が1箱ずつ贈呈されました。



「農婚塾 in 新ひだか」開催！

8月31日から9月2日までの3日間の日程で、農村交流ツアー「農婚塾 in 新ひだか」が開催されました。

今回のツアーには、道内外から10名の女性、男性は静内地区から9名、三石地区から3名の計22名の参加がありました。

日高地方ならではの軽種馬関連施設の見学、ジャガイモ・トウモロコシの収穫体験やその獲れたて野菜を使ったカレーコンテストなどを通して、3日間という限られた時間のなかで、お互いに交流を深め、最終的には、2組のカップルが誕生しました。